

Support Power

PROFILE

利府町 震災復興推進室 事業推進班

まつした さとし

松下 敏 さん

宮城県より派遣(鹿児島県出身)

the 応援職員

NOW IS.

利府

RiFu

復興の一助になれたら。



浜田漁港、海側の防潮堤。



防潮堤整備が進む浜田漁港



「利府町の沿岸部は、特別名勝松島の指定地域です。景観に配慮して、海側からのコンクリートは擬石(人造石)の模様を採用しています」と話す松下さんは、鹿児島県出身。東京に就職し、転勤で宮城へ来ました。上下水道の設計や施工管理のコンサルティング会社に所属していましたが、宮城県の任期付職員の募集を見て、少しでも復興の力になれたらと応募。平成25年に採用され、利府町に派遣されました。

松下さんの担当は、浜田地区の復興事業。防潮堤や避難施設、防災備蓄倉庫などの復興に関わる施設の整備事業を民間業者に発注し、その後の施工監理を行っています。

現在、浜田漁港は防潮堤工事の真っ最中です。工事を進める上で苦勞も多いと話す松下さん。「浜田地区は地盤が柔らかく、強固に

するために地中に杭を打ち込んでいます。また、西側の防潮堤は、当初陸側から工事する予定でしたが、クレーン車などの重機を搬入すると地盤が沈んでしまうことが懸念されるため、海側から作業船で工事することに。ところが水深が浅いため作業船が入れず、底面を浚って土を取り去ってから着手となりました。

当初、「防潮堤で海が見えなくなるのでは？」と不安の声がありました。防潮堤と同じ高さの看板を3カ所設置し、イメージしやすいようにしたり、図面を配布したり、要所所で説明会を開きました。「住民のみさんに協力をいただき、理解を得ながら工事を進めています」と話す松下さん。「浜田地区には漁港周辺に、マリナーが4カ所あります。防潮堤の陸側と海側を行き来するためのゲートを作り、使いやすいような設計も。ゲートは電動なので、緊急時にすぐ対応できるように、遠隔操作にする予定です。」

松下さんの任期は平成30年3月までです。「あつ」という間の5年でした。3月まで滞りなく作業を進め、引き継いでいけたらと思っています。今後、任期付職員の募集があれば、再度応募したいと思っています。復興の手助けを続けていきたいですね」と話してくれました。

今月のガイド



松島島巡り観光船企業組合理事 五大堂営業所 所長

すずき たけひろ

鈴木 文洋 さん



「お客さまからの『また来たい、ありがとう』の言葉が明日の活力につながります」と話すのは、今回「語り部クルーズ」で語り部をしてくれた鈴木さんです。

震災の年の4月29日、「松島から復興の声を届けたい」と観光船は一部の運航を再開。多くのボランティアの人たちが乗りに来てくれて『ありがとう』と言ってくれた

んです。感謝するのはこちらの方なのに。当時の状況を聞かれることが多く、語り部クルーズが開始されました。

観光船はつながらる場だと言います。親と来ていた子が成長してアートを来て、結婚して夫婦で来て、子どもと来る。震災の記憶もずっと後世に残していきたいですね。」

info/area

{エリア情報} 復興や防災にまつわるニュースをお伝えします



「文化複合施設」の整備を進めています

利府町では、図書館、公民館、ホールなどが複合化した「文化複合施設」の整備を進めています。東日本大震災では、地域コミュニティや連帯感の重要性を改めて認識することとなりました。今後は「文化複合施設」を中心に、住民の生涯学習、文化・芸術活動、読書活動などを支援しながら、人との絆や地域との絆を強化する交流拠点を目指していきます。施設は第1期・第2期と段階的に整備を進める計画で、第1期の完成は、平成32年度の予定です。

☎ 022-767-2197(利府町 文化複合施設推進室)



第40回松島かき祭り

震災の翌年も中止することなく、地域再生への願いと、多くの方々からいただいた支援に感謝を込めて毎年開催してきた「松島かき祭り」を来年も開催します。松島の冬の味覚「かき」をぜひ堪能してください。

- 日時: 平成30年2月4日(日)
- 場所: 松島公園 第5駐車場(予定)
- 詳細はHPにてご確認ください。
<http://www.matsushima-kanko.com>
- ☎ 022-354-2618(松島観光協会)